

第10回近畿秋季少年野球大会 大阪府予選

【決勝戦】○高槻C 4-1 バイキングJ

チーム名	一	二	三	四	五	六	七	計
高槻クラウン	1	3	0	0	0	0	0	4
バイキングジュニア	0	0	0	1	0	0	0	1

【準決勝】○高槻C 1-0 香里F
 【二回戦】○高槻C 7-3 北豊中
 【一回戦】○高槻C 3-0 門真ビッグD

大阪予選
高槻クラウン
優勝

やったぜ

優勝

9月18日(祝)台風一過の青空の下、2年生以下の大会である第10回近畿秋季大会 大阪府予選(通称「ポカリ杯」)が行われた。高槻Cは、打つべきところできりりと打て、得点につなげる事ができた。4回裏にはバイキングJにタイムリーを打たれるが1点止まり。6回裏には一時、ピンチも迎えるが守備陣によるレフトからの中継プレーにより本塁アウトでピンチを逃れる。最終回は投手(主将)の鮫島が9奪三振の完投。ベンチからの細かな声掛け、また1・3年生からの熱血応援でチームは一体感を見せ優勝旗を手にすることができた。高槻Cは、11月25日(土)から始まる文科大臣杯第9回全日本少年野球近畿大会へ出場する。会場は和歌山県紀三井寺公園野球場にて。

その調子で全国への権利を掴め!



組み合わせを見た瞬間、激戦ゾーンからの勝ち上がりは大変だと思ったようだ。しかしながら、くじ運で勝ったところで近畿大会では勝てない。これはチームが強くなる為に用意された全国へ行くシナリオだと前向きな考えだ。そうすると必然的に目先の相手に対応するのではなく地力をつけることに集中できたとの事。いずれにしても大阪代表の権利を得ただけ。近畿を勝ち抜き全国の舞台へ出てこそ価値がある。まずは11月25日に向けて怪我をしない体づくりと体調管理を選手達には指示済。今大会は2年生以下の新人戦なのでチームの底上げも考えているようだ。近畿大会までには3人位選手が入れ替われば面白く、チーム力も上がると笑顔を見せてくれた。まだまだこのチームは伸びしろがあるようだ。プレーについては攻撃のバリエーションと決定力をつけ近畿での好投手に立ち向かうと気合いの入った表情であった。

☆塩田監督 取材